

一般社団法人 日本脊椎脊髄病学会
平成 29 年度 第 1 回専門医制度委員会
議事録

日 時 : 平成 29 年 4 月 15 日 (土) 午前 7 時 00 分 ~ 8 時 00 分
場 所 : ロイトン札幌 4F 弥生
(第 46 回日本脊椎脊髄病学会会場)

出席者 : 波呂浩孝 (担当理事)、中村博亮 (委員長)、大川淳、竹下克志、
江幡重人、石井賢、二階堂琢也、寺井秀富、井上玄 (以上委員)

以上 9 名

欠席者 : 中村雅也 (委員)

以上 1 名

報告事項

- 波呂担当理事より 本学会にて発表・周知予定である「脊椎脊髄外科専門医試験の実施と研修施設認定」に関する内容の説明がなされた。
- 脊椎脊髄外科専門医試験問題集が発売された。問題集に受験申込票が入っており、専門医試験受験時に必須となっている。
- 試験の問題数は 30 問であり、試験会場で採点を行うことが可能である。
- 指導医を 2 回以上更新した学会員が受験の対象者であり、試験合格後に専門医として両学会理事長の名前で認定する。
- 第 1 回試験は第 52 回日本脊髄障害医学会 (吉永勝訓会長・千葉) の日程に合わせ、2017 年 11 月 17 日に行う。本学会会員 64 名、日本脊髄外科学会会員 32 名の受験を予定。
- 第 2 回試験は第 47 回日本脊椎脊髄病学会 (中村博亮会長・神戸) の日程に合わせ、2018 年 4 月に行う。最大約 1,000 名の受験を予定。
- 第 3 回試験は第 33 回日本脊髄外科学会の日程に合わせ、2018 年 6 月に予定。
- 第 1 ~ 3 回までの合格者 (600 人程度を想定) を一括して、合格者とする。
- 本学会指導医は JSSR 独自の資格である一方、専門医は JSSR と NSJ と共有のフォーマットとなり、全く別の資格となる。

▶専門医試験事務局を東京パレスサイドビル（竹橋）の「マイナビ」内に設置することが決定した。

審議事項

各委員より以下の意見が出された。

中村博亮委員長：第1回試験の定員に限られるが、受験者をどのように決定するか。対象となる受験者に1～3回のいずれで受験したいかを第1から第3希望として挙げてもらってはどうか。

竹下委員：第2回試験は第16回脊椎脊髄病研修コースの講師と重複する受験者がいるため、該当者には第1回試験の受験資格を優先的に与えて頂きたい。

波呂担当理事：対応する。

江幡委員：申し込んでいた第1～3回の試験を、事情があって受験できなくなった場合、他の期日の試験を受験できるのか。

波呂担当理事：定員に問題なければ、振替可能である。

波呂担当理事：不合格者の再受験の際は、問題集の再購入は不要とする予定。

大川委員：専門医機構の規約により、基盤学会との検討会を開かなければならない。そのため、日本整形外科学会、日本脊椎脊髄病学会、日本脳外科学会、日本脊髄外科学会の4学会による調整の場を設ける必要がある。

大川委員：今後、新たに専門医の取得を目指す世代を想定した際、2階建ての2階にあたる学会に関しては、カリキュラム制による受験資格の取得が認められている。その場合、研修期間の年限を限る必要はないとなっているが、専門研修施設での研修期間は2年間で良いのか。

中村博亮委員長 原則的に3年であるが、基本領域との1年の重複を認めている。

以上

文責：井上 玄